

鈴なりだより

2戦終えてスイスの拠点に戻ってきました。それでは今回もお付き合い願います。

・ヨーロッパ初戦(UMAGLADIES)

3月5日と9日に、チームとしてのヨーロッパ初戦に参戦してきました！今回出場したのは、カテゴリー2に分類されるコンチネンタルチームが出場できるレースです。この他には1つ上のカテゴリー1と、プロチームも出場するワールドツアーカテゴリーがあります。

今回のレースの出場人数は70～90名ほどで、共に平坦基調5日のレースでの自分の役割はアタックに反応したり、自分で逃げにトライしてみたり、他チームの足を削ることや、スプリント勝負になることが考えられたので、スプリンターの足を温存してもらうべく、集団を牽引することでした。結果としてはラスト1km付近でチームメイトを牽引してから、体力を使い切り、他のチームメイトに託して自分はそこで集団からドロップアウトし、先頭から17秒差でのゴールとなりましたが、本来の役割として与えられていたレース中でのアタック対応、逃げのトライなどアグレッシブに動くことができたと思うので、この規模感でのヨーロッパ初戦としては、まずまずの結果だったのではと思います。ただ、集団走行への苦手意識から所々、レースが動かないであろうところでの集団牽引で無駄足を使ってしまったたり、段差でボトルが飛んでいき、FEEDゾーンでもうまく補給をとれずに、残り100km近くを無補給で走ってしまったことなど、反省点はいくつもありました。このようなことを改善できれば最後まで足を温存できたと思うので、反省点は次に活かしていきます。

・欧州2戦目(PORECladies)

中3日明けて、2戦目を走ってきました。初戦のUMAGより多少勾配変化があるものの、逃げが簡単に決まるコースではなく、私含めた3人のチームメイトの中で、タイミングみて、いけそうな人が逃げに乗るという作戦でした。今回も前回同様、なるべく前に位置して、いつでも反応できるようにアンテナを張ることを心掛け、補給をこまめに摂ることを意識しました。何度か逃げができるものの、中々きまらず、少し落ち着いた時に、今なら決まるのでは？と思った瞬間があり、アタックを試みたところ、9人ほどと抜け出ることができました。ペースには余裕があり、後ろに追いつかれない程度に皆と同じようにローテーションをして走りました。どこかでアタックがかかるわけでもなく、後続集団とも大分差がついたまま、ラストスプリントに持ち込む流れになりそうでした。今回のコースはラスト1.3kmの上りゴールのレイアウト、上りが得意とはいえ昨年の結果を見るとスプリンターが勝っていました。一緒に逃げてるメンバーみたところ、クライマーぽい子は1人、また、私にとっては短い上りであると考え、最後まで何もしないで後悔したくないと思ったので、ラスト1周(6km走ったあと、20kmの周回を周のコース)の傾斜面で半分くらいと抜け出したいと思い、アタックを仕掛けようと決めました。

速度差アタックを試みたものの抜け出すことはできず集団の牽制が始まり、まあこれは仕方ないことなので無理ないペースで長めに牽くことにしました。最後、もう一回アタックに試みようと思って、



ラスト1.2kmのランドアバウトのところでアタックしました。ただ、これは監督曰く、仮にチームメイトがもう1人乗っていて他チームの足を削るためには得策だけど、単騎では得策ではなく、ラストのために足を残しておくべきだったとアドバイスいただきました。これは今回の大きな学びです。結局それでも決めきれなかったのが、ラストのスピードアップに備えることに。ラスト500mの右折カーブを3.4番手で入ることと言われたので、位置取りに試みたものの、ラスト600mでぐんと上がり、そこに反応することができず、あっという間に皆はとんでいき、自分は集団内9番目のゴールとなりました。くっそー！！！！ゴール直後に発した言葉です。いいところまでいけたからこそ、結果に繋がらなかった。途中途中の自分の選択に後悔はしていませんが、結果に繋げることができなかった悔しさと、チームの皆に申し訳ない気持ちでいっぱいでした。ただ、こうして色々やってみたからこそあれはよかった、悪かったを判断できるので、様々トライできてよかったと思います。ただ、初の海外レースでのUCIポイント獲得(3ポイント笑)獲れたこと、チームメイトや監督が讃えてくれたことは素直に嬉しかったです。2戦を終えてよかった所は伸ばしていき、課題点は改善していきます。

・4月の予定

UCIのステージレースに出場予定だったのですが、急遽中止となり、UCIレースは1DAYレース1つとなりそうです。もう少しレースがあると思っていたので少し残念ですが、スイス内レースにも出場予定なのでできることを頑張ります！！